

川西市中学校給食検討会議（第5回）次第

日 時 平成26年4月10日（木）

午後2時00分～

場 所 庁議室（川西市役所4階）

1 開会

2 会議内容

（1）近隣他市における中学校給食の実施状況について

（2）中学校給食検討会議における意見書(案)について

（3）その他

3 閉会

近隣他市町中学校給食等実施状況(平成26年4月時点集計)

資料1

市町名	中学校数	生徒数	位置づけ	喫食	調理実施	方式	献立作成	備考
川西市	7	4,340	未実施(ミルク給食のみ実施)	---	---	---	---	25年度に検討会議を立ち上げ、検討中
尼崎市	19	10,290	昼食提供	希望制	委託	デリバリー(弁当箱)	市	平成24年10月から3校で開始、平成27年度中に全19校で実施予定
西宮市	20	11,991	学校給食	全員	直営 (米飯:委託・直営併用)	自校(小中別献立)	栄養教諭	
芦屋市	3	1,590	未実施 (学校給食を実施予定)	(全員)	(未定)	(自校)(小中別献立(小学校と同様に学校別献立の予定))	(栄養教諭)	開始予定時期: 1校目・平成27年度 2校目・平成30年度 3校目・平成32年度
伊丹市	8	5,510	未実施(ミルク給食のみ実施)	(全員)	(委託)	(共同調理場)(小中別献立(中学校用の施設を整備するため))	(栄養教諭)	平成28年度開始予定
宝塚市	12	5,661	学校給食	全員	直営 (米飯:委託・直営併用)	自校(小中別献立)	栄養教諭	
三田市	8	3,325	学校給食	全員	直営 (米飯:委託)	共同調理場(2か所) (小中共通献立(中学校は小学校の1.2倍))	栄養教諭	
猪名川町	3	994	学校給食	全員	直営 (米飯:直営)	共同調理場(1か所) (小中で共通の日と別の日有り)	栄養教諭	
神戸市	82	36,895	昼食提供(80校) (学校給食を実施予定)	希望制 (選択制)	委託	デリバリー(弁当箱)	業者	平成26年度中に一部校で開始し、平成27年度中に全82校で実施予定
明石市	13	8,252	学校給食	(全員)	(委託)	(デリバリー(弁当箱))	(栄養教諭)	平成27年度開始予定

近隣他市町中学校給食等実施状況(平成26年4月時点集計)

資料1

市町名	中学校数	生徒数	位置づけ	喫食	調理実施	方式	献立作成	備考
池田市	5	平成24年5月 2,518	(学校給食を実施予定)	(全員)	(委託)	(デリバリー(弁当箱))	市	平成26年4月から全5校で開始予定
箕面市	8	平成25年5月 3,313	学校給食	全員	委託	自校(小中別献立(小中一貫校は、小学校統一献立に一品追加))	栄養教諭	平成24年9月から小中一貫校2校で開始。 平成25年9月から全8校で開始
豊中市	18	平成24年5月 9,988	(学校給食を実施予定)	(選択制)	(委託)	(デリバリー(弁当箱))	市・業者	平成26年1月に7校で、平成27年1月に5校で、平成28年1月に6校で、それぞれ開始予定。全18校で実施予定
吹田市	18	平成23年5月 9,400	学校給食	選択制	委託	デリバリー(弁当箱)	市・業者	
茨木市	14	平成25年5月 7,916	学校給食	選択制	委託	デリバリー(弁当箱)	市・業者	
摂津市	5	平成24年5月 2,295	(学校給食を実施予定)	(選択制)	(委託)	(デリバリー(弁当箱))	市	平成27年度から開始予定
高槻市	18	平成24年5月 9,313	昼食提供(子育て支援の一環)(16校) 学校給食(2校)	希望制 (全員)	委託 (直営)	デリバリー(弁当箱) 親子(小学校の調理施設から配送)(小中共通献立が基本(小学校の1.1~1.3倍)だが、日によって追加献立や別献立となる場合がある)	市 栄養教諭	平成24年11月から2校で試行、平成26年度には全18校で開始予定(一部校では、新規に調理施設を整備予定)
守口市	9	平成25年5月 3,745	学校給食	(選択制)	(委託)	デリバリー(弁当箱)	市・業者	平成26年1月から実施
寝屋川市	12	平成25年5月 6,496	学校給食	全員	委託	デリバリー(弁当箱)	市	
枚方市	19	平成24年5月 11,371	学校給食	(選択制)	(委託)	(共同調理場(弁当箱))	栄養教諭	平成28年度までのできるだけ早い時期に開始予定

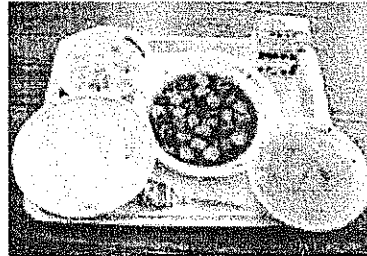
●● 箕面市の中学校給食（自校調理方式）を取材 ●●

箕面市教育委員会子ども未来創造局給食推進担当と箕面市立第三中学校（570食）にご協力いただき、中学校給食の実施状況取材しました。

市 町 村 だ よ り

●● 自校調理方式による給食実施の状況 ●●

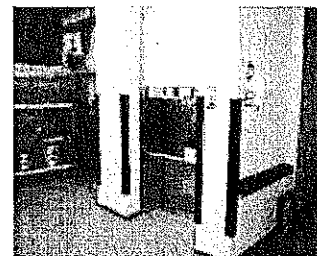
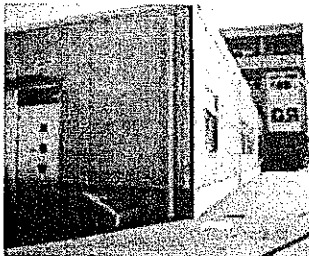
箕面市では、平成24年3月に保護者などで構成する中学校給食検討会からの提言もあり、市立中学校（8校）において「自校調理方式」の全員喫食による完全給食の導入を決定し、大阪府の中学校給食導入促進事業費補助金を活用し、平成24年9月から小中一貫校2校で、平成25年9月から残る6校でスタートしました。



■ 当日の献立 ■

ジャンバラヤ風ごはん
牛乳
マカロニグラタン
コンソメスープ

中学校給食は、米飯を中心とした日本型食事を基本とし、地域の農産物や特産物の活用を推進しています。



委託業者の調理員さんが約10名体制で調理にあたっています。

作られた給食はワゴンに乗せてエレベーターで2階や3階へ運びます。



各階の配膳室へ給食当番が食缶等を取りに来ます。



給食開始2ヶ月で落ち着いて配膳できるようになりました。エプロンは生徒達が家庭科の時間に手作りました。



教室での給食風景。みんな仲良く机をくっつけて食べています。

●● 自校調理方式のメリット ●●

- ・校内に漂う香りを感じ、適温でおいしい給食が味わえる。
- ・安全・安心な給食はもとより、食物アレルギー等への適切な対応を行なえる。
- ・地産地消による地域の生産者、給食を調理する人、食材そのものへの感謝の気持ちを育てられる。
- ・同じ給食を、同じ場所で共に楽しく食べることや、配膳や後片付けを通して、食事の大切さや食事マナー、子ども達の連帯感・社会性を育める。



●● 今後の課題 ●●

- ・体育等移動教室での授業後はどうしても給食の準備が遅れてしまうので、工夫が必要である。
- ・濃い味を好む生徒が多いが、素材の味を味わってもらえるよう調理や味付けの工夫をし、残食を減らせるようにする。
- ・学校給食を活用した食教育を広げていく。



中学校給食検討会議における意見書（案）

（1）全員喫食の完全給食を実施すること

- ①学校給食を実施することで、すべての生徒が栄養バランスのとれた食事をとることができる。
- ②食生活の改善や望ましい食習慣が実現し、子どもたちの健やかな成長につながるものである。

（2）質が高く食育につながる給食を実施すること

- ①小学校で実施されている食育を、中学校でも引き続き実施することで、将来の生きる力につながるものに発展させることができる。
- ②食育推進の中心的役割を担う栄養教諭の配置を考慮する必要がある。

（3）実施方式は「自校調理方式」を基本とすること

- ①小学校で実施されている「自校調理方式」の意義－和食を中心とした手作りにこだわった献立、調理から喫食までの時間が短く適温でおいしく食べることができる、作り手と食べる側のコミュニケーションがとりやすく、ふれあいの機会が多いことなど－を大切にすべきであり、中学校給食の基準となるものとする。
- ②中学校によっては、調理室の建設場所の確保が困難な場合もあることなどから、「自校調理方式」を基本としながら、実施時期や費用を考慮する中で、近隣の小学校で調理し配送する「親子調理方式」や隣接する中学校間で連携を行う「兄弟調理方式」との組み合わせを検討する必要がある。
- ③早期実施の観点から、暫定的に「親子調理方式」で実施し、「自校調理方式」へステップアップする形態を検討する必要がある。

（4）円滑な実施に向けて問題解決を図ること

- ①導入にあたっては、実施前に問題を抽出し、解決を図るために、実績がある小学校の協力を得ることが有効である。
- ②円滑な導入・運営に向けて、教育課程との関連や配膳時間の確保など、教育活動に与える影響について十分に考慮する必要がある。
- ③すべての教職員が共通理解を持って取り組むため、モデルケースとして一部の学校で先行実施したうえで順次進めていくことを検討する必要がある。